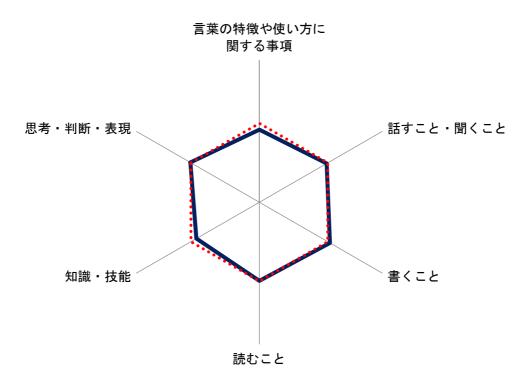


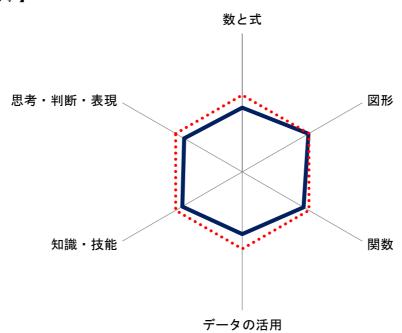
令和7年度 全国学力・学習状況調査 (各教科観点別等の状況) 結果

西予市

○ 教科に関する調査(全国の平均正答率との差)



【数学】





令和7年度 全国学力・学習状況調査 (各教科観点別等の状況) 結果

西予市

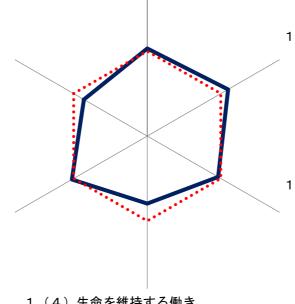
○ 教科に関する調査(全国の平均正答率との差)

【理科】

※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに 全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの 市平均全国平均

1 (1) 電気とそのエネルギー (知・技、選択)

1 (6) 身の回りの物質と その性質 (思・判・表、記述)



1 (2) 身の回りの物質と その性質 (思・判・表、記述)

1 (5)原子・分子 (知・技、短答)

1 (4) 生命を維持する働き (知・技、選択)

1 (3) 身近な地形や地層、 岩石の観察 (思・判・表、選択)

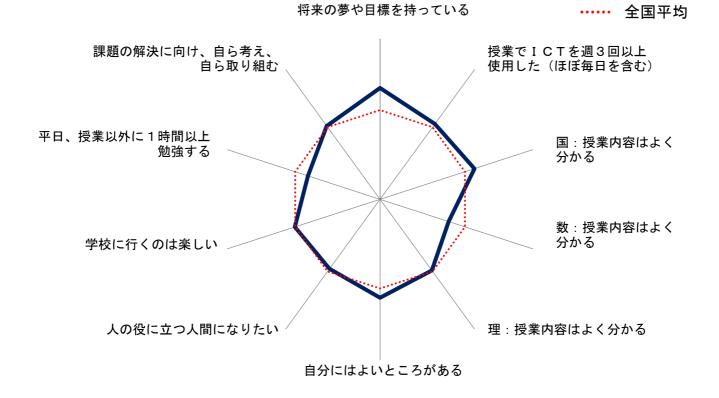


令和7年度 全国学力・学習状況調査 (学習や生活の状況) 結果

西予市

— 市平均

○ 生徒質問調査(全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は、ほとんどの項目が全国平均と同程度の結果になっている。一方、数学は、「図形」の項目は全国平均とほぼ同じであるものの、それ以外の項目が全国平均を下回っている。理科は、公開問題1(4)、(6)が全国平均を大きく下回っており、既習の知識を活用したり、学習の振り返りにおいて新たな問題や身近な生活との関連について整理し表現したりすることなどに課題が見られる。今後は、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させるとともに、知識を活用して課題の解決に取り組む活動を取り入れた授業改善を推進していくことが望まれる。

生徒質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」の項目が全国平均を大きく上回っており、キャリア教育や自己肯定感を高める教育活動が推進されている成果がうかがえる。一方、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」、数学の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を大きく下回っている。今後は、生徒にとって「分かる」「できる」を実感できる授業づくりを推進するとともに、学校と家庭との連携により家庭学習のより一層の充実を図る取組を推進することが望まれる。